# Back to the Future

**上演時間：約40分（想定） ／ クラス：3年D組（想定）**

> 配役・実施年度は未定。本台本は次年度以降の候補企画としての**改訂稿**であり、
> 初稿からキャラクターの口調・ギャグの伏線回収・開幕演出・ラストの見せ方を中心に
> 大幅に書き直している（変更点の詳細は`生徒用/変更点.md`参照）。細部の演出は
> リハーサルを通じて今後調整する前提で作成している。

---

## キャスト一覧

| 役名 | 備考 |
|---|---|
| **マーティ・マクフライ** | 主人公。全ACT通し出演 |
| **ドク（エメット・ブラウン博士）** | 発明家。1985・1955通し（同一役者） |
| **ジョージ・マクフライ（1985）** | マーティの父。気弱な会社員 |
| **ジョージ・マクフライ（1955）** | 同上の高校生時代。気弱でオタク気質 |
| **ロレイン・ベインズ（1985）** | マーティの母 |
| **ロレイン・ベインズ（1955）** | 同上の高校生時代 |
| **ビフ・タネン** | いじめっ子。1985・1955通し（同一役者） |
| **ストリックランド校長** | コミカルな脇役。1985・1955通し |
| **マーティの家族（弟・妹）** | ACT1冒頭のみ。コミカル |
| **ダンスパーティ司会・バンドリーダー** | ACT5のみ。コミカル |
| ナレーター | 2〜4人想定。録音でも可 |
| **タウンズピープル／ダンスパーティ参加者** | モブ。複数名 |

*※ 配役者名は未定。決定後は`配役表.md`に反映すること。*

### 演出メモ：キャラクターの口調の芯

> 均質にならないよう、各キャラは以下の「芯」を意識して演じ分けること。
> 迷ったらここに立ち返る。

| 役名 | 口調の芯 |
|---|---|
| **マーティ** | 現代っ子のノリで軽口・ツッコミ役。動揺しても最終的には現実的に切り返す |
| **ドク（1985／1955共通）** | 専門用語混じりの早口。興奮すると声が裏返り、自分の言葉に興奮してさらに加速する |
| **ジョージ（1955）** | 語尾を伸ばす・言い淀む・急に自信なさげに小声になる。SF好きが高じて興奮すると早口オタク語りになる（このギャップが後半の伏線） |
| **ジョージ（1985）** | 1955年とは対照的に、言い切り型のはっきりした短い文で話す。堂々とした間の取り方 |
| **ロレイン（1955）** | 好奇心旺盛でグイグイ来る。語尾に「〜ねえ」「〜でしょ」で相手の返事を待たず畳みかける |
| **ロレイン（1985）** | 穏やかだが芯が強い。惚気るときも淡々と事実のように言う |
| **ビフ** | 伝法な口調・語尾は「〜だろうがよ」「〜じゃねーか」。決め台詞「頭のネジ、どっかに忘れてきたんじゃねーのか？」を繰り返し使う（ACT1→3→4→5で立場が逆転する） |
| **ストリックランド校長** | 何を見ても叱る堅物。決め台詞「将来ロクな人間にならんぞ」を状況に関係なく連発する |

## ACT別 主要出演早見表

| ACT | 舞台 | 主要キャラ |
|---|---|---|
| ACT1 | 1985年・マクフライ家／ドクの実験室／時計塔広場 | マーティ、ドク、ビフ（1985）、ジョージ・ロレイン（1985） |
| ACT2 | 1955年・農場／街／ベインズ家 | マーティ、ジョージ（1955）、ロレイン（1955） |
| ACT3 | 1955年・ドクの家／街 | マーティ、ドク（1955）、ジョージ（1955）、ビフ、ストリックランド |
| ACT4 | 1955年・カフェ／マクフライ家 | マーティ、ジョージ（1955）、ビフ、ロレイン（1955） |

| ACT | 舞台 | 主要キャラ |
|---|---|---|
| ACT5 | 1955年・高校の体育館（ダンスパーティ会場） | 全員（ストリックランド含む） |
| ACT6 | 1955年→1985年・時計塔広場／マクフライ家 | マーティ、ドク、ジョージ・ロレイン（1985）、ストリックランド |

---

## 演出・スタッフ メモ

- ト書き（イタリック）はセリフではない。混同しないこと
- 照明・音響のタイミングは別紙キューシート（`役割書_照明係.md`・`役割書_音響係.md`）を参照
- 最重要キューは**SE1「雷鳴・時計塔」**（ACT6クライマックス）。照明・音響・舞台監督の三者連携が必須。詳細は`プロジェクト概要.md`参照
- デロリアンは大道具の張りぼて（段ボール・ベニヤ製、キャスター付き）。役者が押し引きし、暗転中に袖へ引き込む。本物の車のように舞台上を走らせる演出はしない
- 場面転換でセリフを削る場合は舞台監督に連絡
- ビフの決め台詞「頭のネジ、どっかに忘れてきたんじゃねーのか？」はACT1〜5で計4回登場する仕込みギャグ。ACT5で誰にどう返されるかが最大の見せ場のひとつなので、該当役者は言い回し・間を統一しておくこと
- マーティが持つ「家族写真」（小道具）は物語の危機を視覚的に示す仕掛け。ACT3・4は「一部透け版」、ACT5からは「元通り版」に差し替える（詳細は`役割書_小道具係.md`参照）
- 演出の詳細はリハーサルで随時調整する

---

# ACT 1　1985年・実験の夜

> 🌙 **場面：郊外の街／マクフライ家の朝食シーン→ツインパインズ・モール駐車場（夜）**

【登場人物】マーティ、ジョージ（1985）、ロレイン（1985）、マーティの家族、ドク、ビフ（1985）、ナレーター

**（開幕〜約7分）**

> 🔊 **音響: 開演予定時刻の1分30秒前、舞台監督（または開場担当）の合図でイントロ（開演前BGM・CUES 00）の再生を開始する。**

🎬 **舞台監督: 全係の準備完了を確認してから「開演」の合図。照明係へ客席消灯を指示。同時に音響係へイントロ停止を指示。**

💡 **開幕：客席照明を消し、舞台は暗転。すぐに明るく（間を空けず、開幕一発目からテンポよく）。**

> *（舞台：簡素な食卓と椅子数脚。開幕と同時に――弟が妹からリモコンを奪い合い、妹が悲鳴。ジョージ〔1985〕は新聞に顔を突っ込んだまま我関せず。ロレイン〔1985〕がフライパンを振り上げて一喝する、賑やかな数秒間から始まる。）*

ロレイン（1985）「（怒鳴る）静かにしなさーい!!　卵が焦げるでしょ!」

> *（弟と妹、ぴたりとリモコンの取り合いをやめる。一瞬の静寂。）*

🔊 **音響: 客電が完全に落ちたところでN1（ACT1冒頭ナレーション）を再生。**

> ナレーター
> 1985年。どこにでもある街の、どこにでもある朝――のはずだった。

🎵 **BGM: マクフライ家のテーマ（CUES 01）を小さく流す。**

ジョージ（1985）「（誰にともなく、蚊の鳴くような声で）……今日も一日、何も起きませんように……。」

> *（その言葉を裏切るように、マーティがスケートボード風の小道具を抱えて猛スピードで登場し、食卓の脇すれすれを駆け抜ける。）*

マーティ「行ってきまーす!　ドクのところ寄ってから学校行くから!」

ロレイン（1985）「マーティ、また発明家さんのところ？　この前あの人、変な装置で近所の信号機止めたのよ!」

マーティ「あれは事故だって。……たぶん。」

ジョージ（1985）「（新聞に顔を戻し、蚊の鳴くような声で）……本当にな……。」

> *（マーティが退場。照明が転換し、舞台は「ドクの実験室」へ。実験室らしい机・謎の機械（ダンボール製のパネルでよい）を配置。）*

💡 **場面転換：暗転→ドクの実験室の色（怪しい紫・緑系のスポット）。**

🎨 **大道具: 実験室の机・機械パネルを設置（暗転中、約15秒目安）。**

> *（暗転の中、ボンッという音とともに、うっすら煙が袖から漂ってくる。明転すると、ドクが白衣を煤だらけにして機材から慌てて飛びのいたところ。）*

🔊 **SE: 実験室の火花・小さな爆発音（SE4）を1回鳴らす（コミカルに、明転の直前）。**

ドク「（咳き込みながら）出力27パーセント超過……いや待て、係数を再計算すれば……あー、燃えてる燃えてる！」

> *（そこへマーティが入ってくる。）*

マーティ「ドク、また燃えてるし。」

ドク「マーティ！　いいところに！　今のはノーカンだ、ノーカン！　それより聞いてくれ、今夜、科学の歴史が変わる！」

マーティ「この前も『歴史が変わる』って言って、うちのテレビ爆発させたよね。」

ドク「（早口でまくしたてる）今回は理論も実証も済んでいる！　今夜10時4分、ツインパインズ・モールの駐車場に来い。時速88マイル、フラックスキャパシタ、時空連続体――全部その目で見せてやる！」

マーティ「（早口すぎてついていけず）……何マイル？」

ドク「88だ！　いいから来い、遅れるなよ！」

> 💡 **場面転換：暗転→時計塔広場（夜、青系の照明）。**

> 🎨 **大道具：デロリアン張りぼてを袖から中央へ押し出す（キャスター使用、役者2〜3名で搬入）。**

> *（舞台：時計塔広場。奥に時計塔パネル。中央にデロリアン。マーティが駆け込んでくる。ドクがデロリアンの脇で計器（小道具パネル）を操作している。）*

マーティ「ドク、これ……車？」

ドク「ただの車なもんか！　デロリアン――時間旅行装置だ！　時速88マイルに達した瞬間、このフラックスキャパシタが過去と未来をつなぐ！」

> 🔊 **SE：デロリアン起動音（SE2）を軽く1回。💡 デロリアン前面のLED（フラックスキャパシタ）が点滅。**

> *（ドクが小型犬のぬいぐるみ〔小道具：アインシュタイン役〕をデロリアンに乗せ、リモコン操作で「発進」させる演技。実際は舞台袖へ引っ込めるだけでよい。）*

ドク「見たか！　アインシュタイン、1分間だけ未来へ行ってきたぞ！　次はいよいよ人間の番だ！」

マーティ「え、まさかドクが乗るの？」

ドク「無論、私だ！　……というのは冗談で、明日以降だな。プルトニウムの調達がまだ済んでいない。」

> *（そこへビフ〔1985〕が絡んでくる。）*

ビフ（1985）「よぉマクフライ。夜中に何やってんだ？（デロリアンを見て）……何だこの変な車。頭のネジ、どっかに忘れてきたんじゃねーのか？」

マーティ「心配ご無用、ちゃんと両方ついてる。」

ビフ（1985）「口だけは達者だな、ガキが。」

🔊 SE: ビフとの小競り合い音（SE6、コミカルに、短く）。

> *（ビフがマーティの肩を小突く。ドクが「まぁまぁ！」と割って入り、大げさな愛想笑いで場をおさめる。ビフ、舌打ちして立ち去る。）*

ドク「気にするな、マーティ。それより――エネルギー調整、あと少しだ。今夜また連絡する！」

💡 暗転（ACT1終了、約15秒）。⏱ 転換目安：15秒。

---

## ACT 2　1955年へ

🌙 場面：農場（夜）→1955年の街並み→ベインズ家

【登場人物】マーティ、ジョージ（1955）、ロレイン（1955）、ナレーター

（約7分）

💡 暗転明け：時計塔広場、夜（ACT1と同じセット継続）。

🔊 音響: N2（ACT2冒頭ナレーション）を再生。

ナレーター
その数時間後――同じ場所に、思いもよらない危険が待ち受けていた。

> *（ドクが計器を操作していると、遠くから雷鳴が聞こえる演出。）*

🔊 SE: 雷鳴・時計塔（SE1）を小さく1回（ここでは伏線として弱め・遠くの音として）。

ドク「まずい、嵐だ！　予定より早い！　マーティ、乗れ、時間がない！」

マーティ「え、ちょっ、まだ心の準備が――」

ドク「乗れェッ！！」

> *（マーティが慌ててデロリアンに乗り込む演技〔デロリアン脇に立ち、ドアを開けて中に入るふりで可〕。何らかのトラブル演出――照明の点滅・ドクの叫び声。）*

🔊 SE: デロリアン起動音（SE2、大きめ）＋雷鳴（SE1）を重ねる。💡 舞台全体を白色ストロボで数回点滅→暗転。

ドク「マーティ！！！」

> *（暗転。転換の間、大道具係がデロリアン張りぼてを袖へ引き込み、代わりに「1955年の農場」を示す簡素な柵・干し草の小道具を配置する。）*

🎨 **大道具: デロリアン退場、干し草・柵パネルに転換（暗転中、約20秒目安）。⏱ 転換目安：20秒。**

💡 **暗転明け：昼間の明るい照明（レトロで柔らかい暖色系）。**

🎵 **BGM: 1955年の街（CUES 04）。**

> *（マーティが柵に突っ込むようにして倒れ込み、慌てて起き上がってあたりを見回す。）*

**マーティ**「（キョロキョロして）……あれ、モールは……？　畑？　いつの間に農業始めたんだよここ……。」

> *（場面転換：街角。ジョージ〔1955〕が本を読みながら歩いてくる。少し先で車のクラクション音の演出。）*

🔊 **SE: 車のクラクション・急ブレーキ（SE3）。**

> *（マーティがとっさに走り出し、ジョージ〔1955〕を突き飛ばして助け、代わりに自分が「車にはねられる」演技をして倒れる。）*

**ジョージ（1955）**「（呆然と）き、君……大丈夫か……？　すまない、その、僕のせいで……いや違うか、車のせいか……えっと……。」

> *（そこへロレイン〔1955〕が駆け寄ってくる。）*

**ロレイン（1955）**「大変、この人怪我してる！　ジョージ、ぼさっとしてないで運ぶの手伝って！」

**ジョージ（1955）**「あ、あの、僕、非力だからあまり役に立たないかも……。」

**ロレイン（1955）**「いいから！」

💡 **場面転換：暗転→ベインズ家（暖かい照明）。**

🎨 **大道具: ベッド代わりの椅子・簡易ベッドを設置（暗転中、約15秒目安）。**

> *（マーティが「ベッド」に横たわっている。ロレイン〔1955〕が甲斐甲斐しく世話を焼いている。）*

**ロレイン（1955）**「お名前は？」

**マーティ**「え、えっと……カルヴィン。カルヴィン・クライン……（下着のタグを見られて咄嗟に）……です。」

**ロレイン（1955）**「素敵な名前ね、カルヴィン。（うっとりと見つめる）ねえ、ご家族は？　恋人は？」

**マーティ**「え、いや、あの、それはちょっと込み入った話で……。」

**ロレイン（1955）**「（ぐいっと顔を寄せる）ねえ、話してみて？」

**マーティ**「（客席に向かって小声で、じりじり後ずさりながら）……まずい。母さんが、僕に本気になりかけてる……！」

💡 暗転（ACT2終了、約15秒）。

---

## ACT 3　1955年のドク

🌙 場面：1955年のドクの家／街角

【登場人物】マーティ、ドク（1955）、ジョージ（1955）、ビフ、ストリックランド、ナレーター

（約7分）

💡 場面転換：暗転→ドクの家（1955年版・少しレトロな実験室）。

🎨 大道具: 実験室セットを1955年風に微調整（時計や道具を古めかしいものに差し替え）。

> *（暗闇の中、マーティが手探りでドアを叩く音。）*

マーティ「（小声で）すみません……ドク、いますか……？」

> *（明転。ドク〔1955〕が寝間着に白衣を羽織った格好でランプを掲げて出てくる。）*

ドク（1955）「何用だね、こんな夜更けに。（マーティをまじまじと見て）……見ない顔だな、坊や。」

マーティ「あの、信じられないかもしれないけど……僕は未来から来たんです。1985年から。」

ドク（1955）「（一瞬の沈黙のあと、目を輝かせて）ほう！　証拠は！？　量子論的裏付けは！？　ワクワクするじゃないか、入りたまえ入りたまえ！」

> *（マーティがポケットから小道具〔家族写真〕を取り出す。）*

ドク（1955）「（写真を凝視し）これは……フィルムの質感が明らかに未来のものだ！　信じよう！」

マーティ「これ、僕の家族です。父さんと母さんと、弟と妹――待って。」

> *（マーティ、写真の端に目を留めて凍りつく。弟の輪郭がうっすら透けている。）*

ドク（1955）「ん？　どうした。」

マーティ「弟が……薄くなってる……！？　さっきまでこんなじゃなかったのに……！」

ドク（1955）「な、なんだと！？　見せてみたまえ。（写真を覗き込み）……これは尋常な写真ではないな。君、何をしでかしたんだ。」

マーティ「多分、僕が余計なことしたせいで……両親が出会うはずだったきっかけが、無くなっちゃったんです。」

ドク（1955）「なんと大それたことを……！　よし、力を貸そう。まずは、その二人の『運命の出会い』をどうにかして立て直すぞ。」

マーティ「元の時間に戻る方法も、まだ分からなくて……。」

ドク(1955)「電力なら――雷だ！　来週11月12日、時計塔に歴史的な落雷がある。街の記録に残っている。その瞬間の電力を使えば、フラックスキャパシタを再起動できるかもしれん！」

> 🔊 SE: 雷鳴・時計塔(SE1)を伏線として軽く1回。💡 一瞬だけ照明を強く光らせる(予兆演出)。

> *(場面転換：街角。ジョージ〔1955〕が本を抱えて歩いている。ビフが待ち構えている。)*

> 💡 場面転換：暗転→街角(昼、明るい照明)。

ビフ「よぉジョージ。宿題、写させろよ。」

ジョージ(1955)「い、いつも悪いな……ビフ……。」

ビフ「悪いなじゃねーよ、当然だろうがよ。(本を奪い取る)」

> 🔊 SE: ビフとの衝突・ドタバタ音(SE6)。

> *(ビフがジョージの本を叩き落とし、拾おうとしたジョージの頭をコツンと小突く。)*

ビフ「(去り際に)頭のネジ、どっかに忘れてきたんじゃねーのか、マクフライ？　……お前の場合、生まれつき無いのかもな。」

> *(ビフ、下品に笑いながら立ち去る。ジョージはしょんぼりと本を拾う。そこへストリックランド、巡回中といった様子で通りかかる。)*

ストリックランド「(ジョージに)マクフライ、そんな所で油売っとらんで教室に戻れ。将来ロクな人間にならんぞ。」

ジョージ(1955)「は、はい……すみません……。」

> *(ストリックランド、ビフの方は見もせずに素通りしていく。ジョージだけがまた頭を抱える。マーティとドク〔1955〕がそれを物陰から見ている。)*

マーティ「……あの校長、ビフの方は見てなかったよね？」

ドク(1955)「見えているものしか見えない人種というのが、いつの時代にもいるものだ。」

マーティ「……あれが、僕の父さん……？　あんなにやられっぱなしで……。」

ドク(1955)「あの調子じゃ、来週のダンスパーティで君の母上と踊る勇気なんて到底なさそうだな。」

> *(マーティが街の掲示板〔小道具パネル〕に貼られたチラシに気づく。)*

マーティ「(チラシを指さして)『Enchantment Under the Sea』――高校のダンスパーティ……！　ドク、これだ！　ここで二人をくっつければ！」

ドク(1955)「時間がないぞ、マーティ。パーティは1週間後――そして時計塔の落雷も、その同じ夜だ！」

> 💡 暗転(ACT3終了、約15秒)。

## ACT 4　特訓とすれ違い

> 🌙 場面：カフェ／マクフライ家（1955年）

【登場人物】マーティ、ジョージ（1955）、ビフ、ロレイン（1955）

（約7分）

> 💡 場面転換：明転→カフェ（明るい昼の照明）。

> 🎨 大道具: カフェのカウンター・椅子を設置。

> *（マーティがジョージ〔1955〕を相手に「ダンスパーティでロレインを誘う」特訓をしている。）*

マーティ「いいか、こう言うんだ。『やあロレイン、僕と一緒にダンスパーティに行かないか』。」

ジョージ（1955）「（棒読みで）や、やあロレイン……僕と、その……。」

マーティ「もっと堂々と！」

ジョージ（1955）「堂々と……（咳払いして急に早口のオタク語りになる）そういえば、時間旅行が可能だとしたら因果律のパラドックスが……。」

マーティ「いや違う、そういうのじゃなくて！」

> *（そこへ実際にロレイン〔1955〕が通りかかる。ジョージは慌てふためき、まともに言葉が出てこない。）*

ジョージ（1955）「（しどろもどろに）あ、あの、ぼ、僕と……えっと……天気がいいね……！」

> *（ロレインはきょとんとした顔で通り過ぎる。ジョージは頭を抱える。）*

ジョージ（1955）「……ダメだ、僕には無理だよ……。」

マーティ「諦めるなよ！」

ジョージ（1955）「そうだ、君の友達のカルヴィンは元気かい？　彼になら気軽に話しかけられそうなんだが。」

マーティ「（真顔で）……それ、僕なんだけど。」

ジョージ（1955）「（きょとんとして）え？　いや、カルヴィン・クラインという――」

マーティ「だから僕！　その節はどうも！」

ジョージ（1955）「……ややこしいな、君。」

> *（そこへビフが登場し、ジョージに絡み始める。）*

ビフ「おいジョージ、宿題は？　……あぁ？　その辛気くさい顔、彼女にでもフラれたか。」

> 🔊 SE: ビフとの衝突・ドタバタ音（SE6）。

> *（ビフがジョージの持っていたコーヒーカップを叩き落とす。派手な音とともに、空のカップが転がる〔小道具：中身の入っていないカップを使用〕。）*

**ビフ**「おっと、悪いな。……いや、悪いと思ってねーけど。」

**マーティ**「（割って入ろうとする）おい、いい加減にしろよ！」

**ビフ**「あぁ？　お前も頭のネジ、どっかに忘れてきたクチか？」

**ジョージ（1955）**「（小声でマーティを制して）……いいんだ、放っといてくれ。慣れてるから。」

> *（ビフ、鼻で笑って立ち去る。マーティはやりきれない表情でジョージを見つめる。）*

**マーティ**「父さん……いや、ジョージ。君は、本当はもっと強い人間になれるはずなんだ。」

**ジョージ（1955）**「君に何が分かるんだ……。」

> *（場面転換：マクフライ家〔1955年〕。ドク〔1955〕が計算式を書いたパネルを持って登場。）*

> 💡 **場面転換：暗転→マクフライ家（1955年、暖かい照明）。**

**ドク（1955）**「マーティ！　時計塔の落雷は、パーティ当日の午後10時4分。1分の誤差もなく計算した。」

**マーティ**「10時4分……ドクが実験してた時間と、ぴったり同じだ。」

**ドク（1955）**「歴史はどこかで繋がっているのかもしれんな。とにかく――当日、二人が結ばれず、落雷の瞬間デロリアンを起動できなければ、君は……。」

> *（マーティが写真を取り出す。弟の輪郭は相変わらず薄いままだ。）*

**マーティ**「（写真を見て青ざめる）まだ薄いままだ……早く何とかしないと、次は僕の番になる。」

> 💡 **暗転（ACT4終了、約15秒）。**

---

## ACT 5　Enchantment Under the Sea

> 🌙 **場面：高校の体育館（ダンスパーティ会場）**

**【登場人物】全員（ストリックランド含む）**

**（約8分・本作最大の見せ場）**

> 💡 **場面転換：暗転→体育館（カラフルな照明・ミラーボール風の点滅）。**

> 🎨 **大道具：ダンスパーティ装飾（星形の飾り・「Enchantment Under the Sea」の看板）を配置。全員で設営（暗転中、約25秒目安）。⏱ 転換目安：25秒。**

**🎵 BGM: ダンスパーティBGM（CUES 05）を再生開始。**

> *（舞台：タウンズピープル（ダンスパーティ参加者）が踊っている。奥にバンド（司会・バンドリーダー含む）が「演奏しているふり」をしている。）*

**ダンスパーティ司会**「みなさーん、盛り上がってますかー！　Enchantment Under the Seaへようこそ！」

> *（ストリックランド、腕組みして会場の隅を巡回している。）*

**ストリックランド**「（踊る生徒たちを睨みつつ）節度を守れよ諸君、節度を。将来ロクな人間にならんぞ。」

> *（ジョージ〔1955〕が緊張の面持ちで会場の隅に立っている。ロレイン〔1955〕はビフに言い寄られて困っている。）*

**ビフ**「なあロレイン、俺と踊ろうぜ。」

**ロレイン（1955）**「け、結構よ、ビフ。」

**ビフ**「つれないなあ。（強引に腕を掴む）」

**🔊 SE: 拍手・歓声（SE5、周囲のざわめきとして）。**

> *（マーティが物陰からジョージの背中を押す。）*

**マーティ**「今だ、ジョージ！　行け！」

**ジョージ（1955）**「（震える声で）む、無理だ、僕には……。」

**マーティ**「さっき言ってただろ、因果律がどうとか！　今こそその理論、実践するときだ！」

**ジョージ（1955）**「（謎の説得力に押されて）……た、確かに！　行動しなければ結果は変わらない！」

> *（ジョージ〔1955〕が意を決して駆け寄り、ビフの腕を振り払う。）*

**ジョージ（1955）**「……や、やめろ！　ロレインが、嫌がってるじゃないか！」

**ビフ**「あぁ？　誰に向かって言ってんだ、この……！」

> *（ビフがジョージに殴りかかろうとする。ジョージはとっさに――今までのいじめられっぱなしとは違い――身をかわし、勢い余ったビフを一発だけ殴り返す〔安全第一：実際には当てず、タイミングを合わせて空振り＋ビフが大げさに吹っ飛ぶ演技〕。）*

**🔊 SE: ビフとの衝突・ドタバタ音（SE6、コミカルに大きく）。💡 スポットライトをジョージに強く当てる。**

> *（ビフはよろめいて尻もちをつき、呆然としている。）*

**ジョージ（1955）**「（自分でも信じられない様子で、しかし堂々と立ち上がって）……頭のネジ、どっかに忘れてきたんじゃないのか、ビフ。」

> *（会場、一瞬しんと静まり返った後、大爆笑と拍手が起こる。）*

**🔊 SE: 拍手・歓声（SE5、大きく）。**

> *（ビフ、真っ赤な顔で逃げるように去っていく。）*

**ストリックランド**「（あっけに取られて見送り）……タネンの奴、将来ロクな人間にならんぞ。」

**ロレイン（1955）**「ジョージ……あなた、こんなに強かったのね……。」

**ジョージ（1955）**「（自分でも驚いた様子で）い、いや、その……僕、こんなこと初めてで……。」

**ロレイン（1955）**「（微笑んで）ねえ、一緒に踊らない？」

> *（二人がゆっくりとダンスを始める。マーティが物陰から満足げに見守る。）*

**🎵 BGM: ダンスパーティBGMをやや静かに絞る（ムード演出）。**

> *（ダンスの途中、ジョージとロレインが見つめ合い、そっとキスをする〔頬・または横顔で寄せるだけの控えめな演出でよい〕。マーティの体が一瞬揺らぐ演技――「消えかけていた自分が助かった」ことを確認する。）*

> *（マーティ、ポケットから写真〔元通り版に差し替え済み〕を取り出して確認し、弟が元どおり写っているのを見てフッと笑う。）*

**マーティ**「（客席に、写真をひらひらさせながら小声で）……フン、間に合ったな。」

> *（バンドリーダーがマーティにギターを手渡す。）*

**ダンスパーティ司会**「おっと、飛び入りゲストのギター演奏だ！　どうぞ！」

**🎵 BGM: マーティのロックンロール演奏（CUES：ダンスパーティBGMを盛り上げバージョンに切替、または同曲のまま音量アップ）。**

> *（マーティがギターを持って情熱的に演奏するふり。テンポが速すぎて、タウンズピープルが誰もついていけずキョトンと立ち尽くす、というコミカルな間を作る。）*

**マーティ**「（客席に向かって、演奏の手を止めずに）……ちょっと早すぎたかな、この曲。」

> *（ダンスパーティ司会、苦笑いしながらマイクスタンドでそっとマーティを引っかけ、舞台袖へやんわり誘導する。）*

**ダンスパーティ司会**「（マイクに）は、はい！　新しい時代の音楽でしたね、ええ！　さあ、いつものテンポに戻りましょう！」

**💡 暗転（ACT5終了、約15秒）。**

---

## ACT 6　時計塔、そして未来へ

**🌙 場面：時計塔広場（1955年、夜）→マクフライ家（1985年）**

**【登場人物】**マーティ、ドク（1955／1985）、ジョージ・ロレイン（1985）、ストリックランド、ナレーター

（約8分・クライマックス）

> 💡 場面転換：暗転→時計塔広場（夜、青系照明）。

> 🎨 大道具: デロリアン張りぼてを再び中央へ（暗転中、約20秒目安）。⏱ 転換目安：20秒。

> 🔊 音響: N3（ACT6冒頭ナレーション）を再生。

> ナレーター
> 落雷まで、あと数分。

> *（マーティとドク〔1955〕が慌ただしく配線〔小道具：延長コード風の紐〕を時計塔パネルからデロリアンへ繋ぐ演技をする。）*

ドク（1955）「あと3分だ！　急げ急げ！」

マーティ「ドク、僕、あなたに伝えなきゃいけないことが……1985年のあなたは――。」

ドク（1955）「よせ！　未来のことを聞くわけにはいかん。知ってしまったら、この先の私の行動が変わってしまう。歴史というのは、そういうものだ。」

> *（マーティは言葉を飲み込み、代わりに1枚の手紙〔小道具〕をドクのポケットにそっと忍ばせる。）*

マーティ「（客席に小声で）……せめて、これだけは。」

> *（遠くで雷鳴が轟き始める。照明が明滅する。）*

> 🔊 SE: 雷鳴・時計塔（SE1、最大音量・最重要キュー）。💡 舞台全体を白色ストロボで連続点滅。

ドク（1955）「来たぞ！　マーティ、乗り込め！」

> *（マーティがデロリアンに乗り込む演技。ドクが時計塔パネルの「稲妻キャッチャー」〔小道具：ワイヤーに見立てた紐〕を接続する。）*

> 🔊 SE: デロリアン起動音（SE2）を雷鳴に重ねて再生。💡 フラックスキャパシタ役のLEDが激しく点滅。

ドク（1955）「時速88マイルだ、マーティ！　行けーーッ！！」

> *（照明が最大の白フラッシュ→暗転。この間に大道具係がデロリアンを台車で袖へ引き込む。）*

> 🔊 SE: デロリアン走行音（SE8）を暗転に重ねてフェードアウト。

> 💡 暗転（場面転換、約20秒）。🎨 大道具: デロリアン退場、マクフライ家（1985年）の食卓セットに戻す。⏱ 転換目安：20秒。

💡 **暗転明け：マクフライ家（1985年、明るい朝の照明）。**

🎵 **BGM: マクフライ家のテーマ（CUES 01）を明るいアレンジで。**

> *（マーティが目を覚まし、自分の部屋〔食卓の隣、簡易な演技エリアでよい〕から慌てて出てくる。ジョージ〔1985〕とロレイン〔1985〕が、以前とは見違えるほど自信に満ち、仲睦まじい様子で朝食をとっている。）*

**マーティ**「え……父さん……？　母さん……？」

**ジョージ（1985）**「（堂々とした様子で、新聞をぱたんと畳んで）おはようマーティ！　聞いたか、僕の小説、ついに出版が決まったんだ！」

**マーティ**「へえ、すごいじゃん！　何て小説？」

**ジョージ（1985）**「タイトルは『時をかける男・カルヴィンの冒険』だ。我ながら会心の主人公名でね。」

> *（マーティ、一瞬固まる。）*

**マーティ**「（客席に向かって、乾いた笑いで）……父さん、その名前、どこから思いついたんだろうね。」

**ロレイン（1985）**「（幸せそうに）あなたのお父さんったら、昔は自分に自信がなかったのに……今はこんなに素敵な人になったのよ。」

> *（そこへ、ドク（1985）が慌ただしく駆け込んでくる。防弾チョッキ〔小道具、コミカルに大げさなものでよい〕を着ている。）*

**ドク**「マーティ！！　大変だ、大変なことになるぞ……いや、なる前に、来てくれ！！」

**マーティ**「ドク……！？　1955年、無事だったんですね！」

**ドク**「話は車の中でだ！　マーティ、君の子供たちのことなんだ……このままじゃとんでもないことになる！　一緒に来てくれ――**未来へ！**」

> *（マーティが驚きながらも、ニヤリと笑ってドクの後を追おうとする。ふと足を止め、ジョージを振り返る。）*

**マーティ**「父さん、一つだけ聞いていい？　その小説の中で、カルヴィンは最後、幸せになる？」

**ジョージ（1985）**「（きょとんとして）当然だろう、主人公だぞ？」

**マーティ**「（にやりと笑って）……だよな。」

🔊 **SE: デロリアン起動音（SE2、軽く）。💡 明るい照明のまま、フラックスキャパシタ役のLEDだけをアクセントで点滅させる。**

**マーティ**「マジかよ……。」

> *（マーティ、ドクの後を追って駆け出す。すれ違いざま、ストリックランド〔1985年、ジョギング中という体〕が通りかかる。）*

**ストリックランド**「マクフライ！　廊下を走るな！　……って、ここ家の前か。まあいい、将来ロクな人間にならんぞ！」

> *（マーティとドク、顔を見合わせて笑いながら退場。）*

> 🎵 BGM: Power of Love（仮・CUES 07）を明るく再生開始。

> *（全キャストが舞台に登場し、カーテンコールの並びにつく。バンドリーダーが悪戯っぽくギターをマーティに再び差し出す。）*

> *（マーティ、両手を挙げて「勘弁してくれ」のジェスチャー。キャスト全員、笑いながら拍手。）*

> 🔊 SE: 花火（SE7、フィナーレ演出。実際の火気は使用しない）。💡 客席も含めた全体を明るく。

> 🎵 BGM: フィナーレBGM（CUES 08）へクロスフェード。

> *（カーテンコール。全員で挨拶。）*

> 💡 客席照明を戻す。🔊 フィナーレBGMをフェードアウト。

**― 終演 ―**